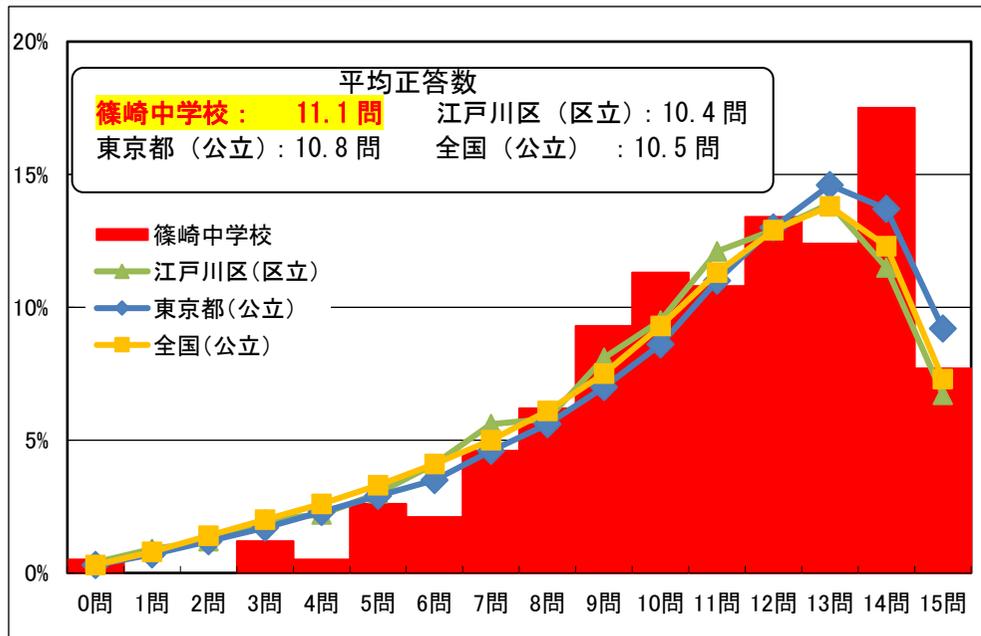


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 篠崎中学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

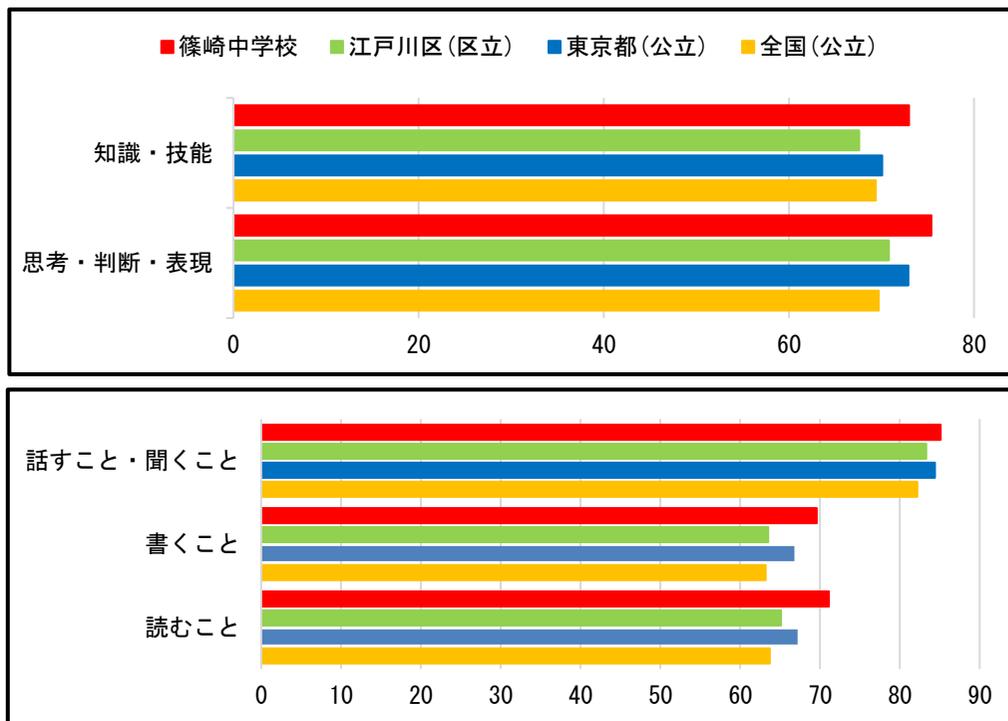
国語	← 上位 → 下位			
	A層 13~15問	B層 12問	C層 9~11問	D層 0~8問
篠崎中学校	29.9	17.0	38.7	14.4
江戸川区(区立)	32.1	12.9	29.7	25.3
東京都(公立)	37.5	13.0	26.6	22.9
全国(公立)	33.4	12.9	28.1	25.6

【平均正答率の差】

篠崎中学校	74%
江戸川区(区立)	69%
東京都(公立)	72%
全国(公立)	69.8%
都との差	+2ポイント

%

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】平均正答率全国平均+4.2%

学習指導要領の内容、評価の観点、問題形式等の分類別区分において、全ての項目で全国平均を上回った。

【授業改善】

思考・判断・表現を問われる問題の中で、目的や場面に応じて質問する内容を検討する問題に慣れさせる必要がある。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。